

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成27年2月】

■調査概要（データ対象期間：平成27年2月1日～2月28日）

- 調査期間：平成27年3月6日～3月23日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送によるアンケート調査
- 回収状況：建設業16企業、製造業23企業、卸売業16企業、小売業26企業
飲食業11企業、サービス35企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計127企業>
- 調査項目：2月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲34.2）よりマイナス幅が23.2ポイント縮小し、▲11.0となった。業種別では、飲食業がマイナスからプラスに転じ、卸売業、建設業、サービス業、製造業、小売業はマイナス幅が縮小した。

（昨年2月は2度の大雪による影響があった。）

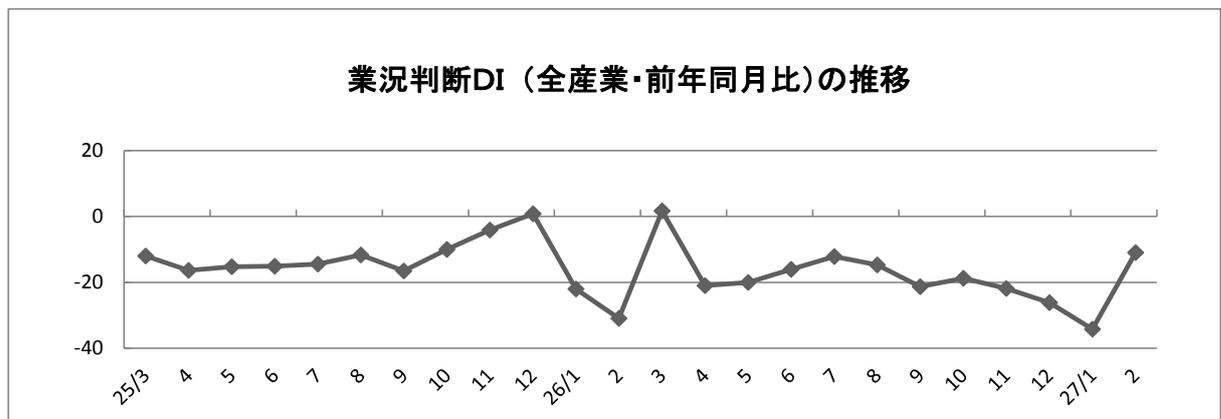
○全産業合計の水準DIは、前月（▲38.1）よりマイナス幅が14.5ポイント縮小し、▲23.6となった。業種別では、建設業、飲食業、卸売業、製造業、サービス業、小売業、全ての業種のマイナス幅が縮小した。

業況判断DI

	業況〔前年同月比〕				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	18.1 (7.1)	52.8 (51.6)	29.1 (41.3)	▲11.0 (▲34.2)	13.4 (7.1)	49.6 (47.7)	37.0 (45.2)	▲23.6 (▲38.1)
建設業	18.8 (12.5)	43.7 (43.7)	37.5 (43.8)	▲18.7 (▲31.3)	6.3 (0.0)	43.7 (56.2)	50.0 (43.8)	▲43.7 (▲43.8)
製造業	21.7 (15.0)	43.5 (35.0)	34.8 (50.0)	▲13.1 (▲35.0)	13.0 (15.0)	52.2 (35.0)	34.8 (50.0)	▲21.8 (▲35.0)
卸売業	12.5 (12.5)	50.0 (37.5)	37.5 (50.0)	▲25.0 (▲37.5)	12.5 (6.3)	37.5 (37.4)	50.0 (56.3)	▲37.5 (▲50.0)
小売業	23.1 (3.4)	38.4 (44.9)	38.5 (51.7)	▲15.4 (▲48.3)	26.9 (3.4)	23.1 (44.9)	50.0 (51.7)	▲23.1 (▲48.3)
飲食業	36.4 (0.0)	54.5 (88.9)	9.1 (11.1)	27.3 (▲11.1)	9.1 (11.1)	63.6 (55.6)	27.3 (33.3)	▲18.2 (▲22.2)
サービス業	8.6 (2.8)	74.3 (66.6)	17.1 (30.6)	▲8.5 (▲27.8)	8.6 (8.3)	71.4 (55.6)	20.0 (36.1)	▲11.4 (▲27.8)

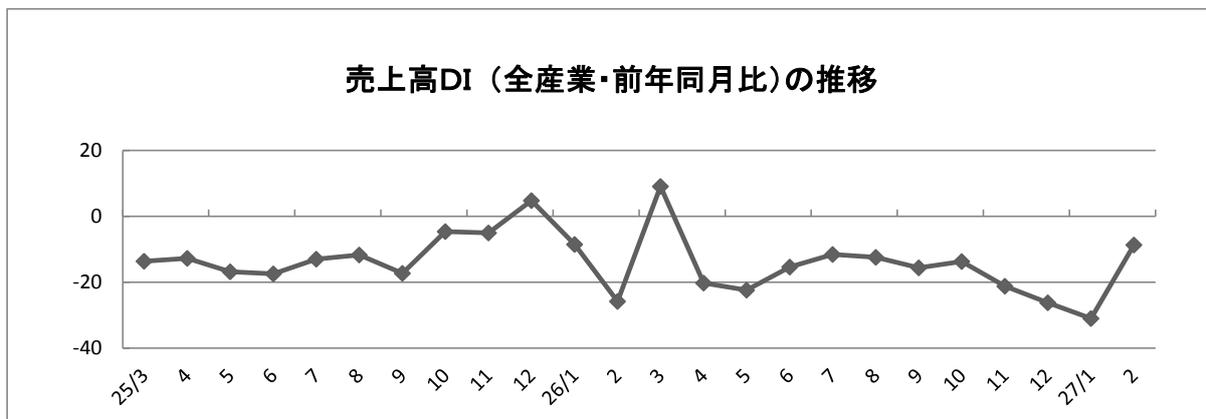
（ ）内は前月データ

※「業種〔前年同月比〕」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲31.0）よりマイナス幅が 22.3 ポイント縮小し、▲8.7 となった。業種別に見ると、飲食業がマイナスからプラスへ転じ、建設業、サービス業、製造業、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小した。

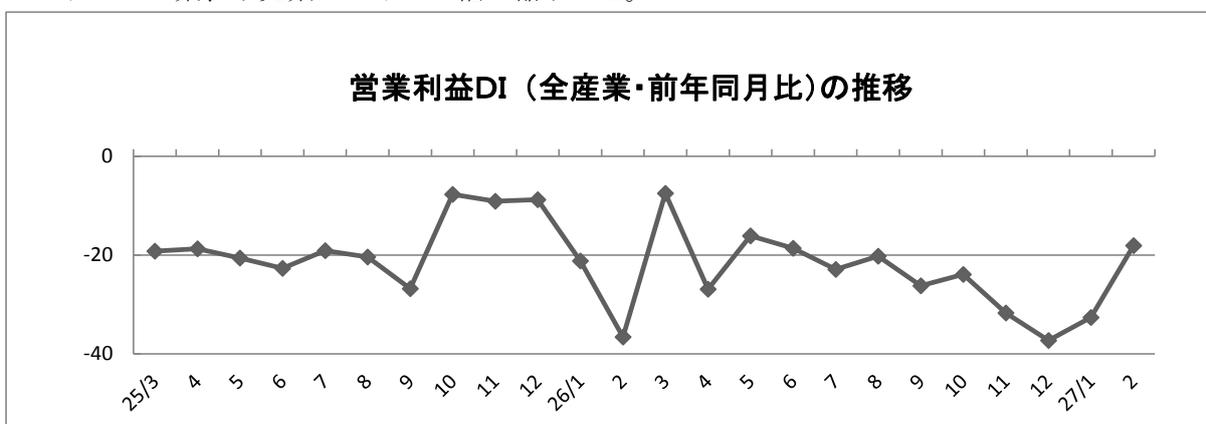


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	26年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
全 体	▲ 25.8	9.1	▲ 20.2	▲ 22.4	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 12.4	▲ 15.6	▲ 13.7	▲ 21.2	▲ 26.2	▲ 31.0	▲ 8.7
建設業	17.7	33.3	14.3	▲ 23.5	0.0	12.5	5.9	▲ 14.3	▲ 13.4	▲ 6.7	▲ 17.7	▲ 37.5	▲ 31.3
製造業	▲ 35.0	0.0	▲ 45.5	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 19.1	▲ 30.0	▲ 13.0
卸売業	▲ 20.0	50.0	▲ 23.5	▲ 25.0	5.9	▲ 12.5	▲ 5.9	0.0	▲ 12.5	▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 6.3
小売業	▲ 23.8	26.1	▲ 40.9	▲ 38.1	▲ 24.0	▲ 29.2	▲ 7.7	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 48.3	▲ 11.5
飲食業	▲ 91.7	▲ 45.4	10.0	0.0	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 22.2	27.3
サービス業	▲ 22.8	▲ 8.3	▲ 11.7	▲ 2.5	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 10.2	0.0	3.1	▲ 5.0	▲ 24.3	▲ 19.5	▲ 5.7

3. 営業利益DI（前年同月比）

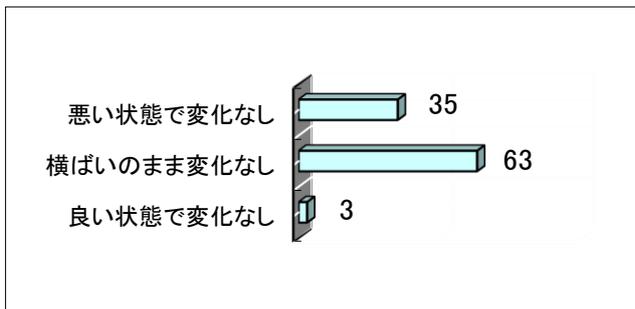
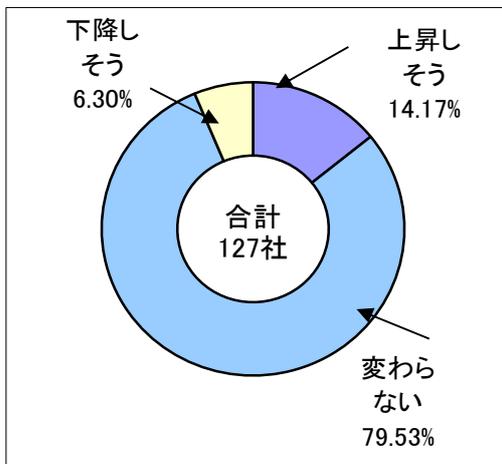
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲32.6）よりマイナス幅が 14.5 ポイント縮小し▲18.1 となった。業種別に見ると、飲食業がマイナスからプラスに転じ、建設業、卸売業、製造業、サービス業、小売業はマイナス幅が縮小した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	26年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
全 体	▲ 36.6	▲ 7.5	▲ 26.9	▲ 16.1	▲ 18.6	▲ 22.9	▲ 20.2	▲ 26.2	▲ 23.9	▲ 31.7	▲ 37.3	▲ 32.6	▲ 18.1
建設業	▲ 23.5	▲ 6.7	▲ 21.4	▲ 5.9	▲ 13.4	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 13.4	▲ 35.3	▲ 37.5	▲ 31.3
製造業	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 40.9	▲ 41.6	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 38.1	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 26.1
卸売業	▲ 40.0	18.8	▲ 23.6	▲ 31.3	▲ 11.7	▲ 18.7	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 31.2
小売業	▲ 28.6	4.4	▲ 40.9	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 34.5	▲ 19.3
飲食業	▲ 100.0	▲ 54.5	0.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 44.4	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 33.3	27.3
サービス業	▲ 34.4	▲ 11.1	▲ 20.6	2.5	▲ 5.7	▲ 17.1	▲ 17.9	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0	▲ 29.7	▲ 25.0	▲ 14.3

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



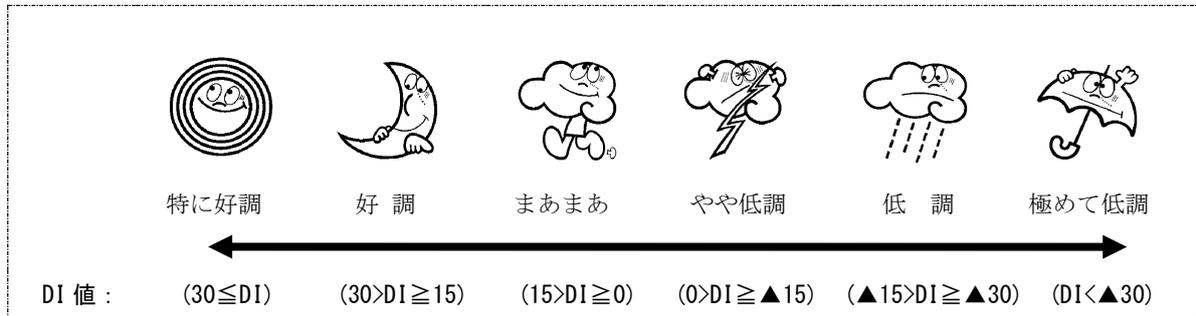
○平成27年3月～平成27年5月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ6.24ポイント増加して14.17%、「下降しそう」が0.84ポイント減少して6.30%となった。業種別の見通しDIは建設業(6.2)、製造業(▲4.4)、卸売業(0)、小売業(3.9)、飲食業(36.4)、サービス業(14.2)であった。

➡「上昇しそう」では、「季節的要因」「物件の引き合いが強くなってきているため」(建設業)、「ガスメーターの交換需要期に入ったため」「仕事量が多めに動いているため」(製造業)、「季節的要因」(卸売業)、「松本城の観光客が増えるため」(小売業)、「暖かくなり、お客様が増えるため」「春休み、歓送迎会、お花見、ゴールデンウィークなどがあるため」(飲食業)、「3月後半より観光シーズンに入るため」「卒業、入学シーズンは売上が上昇するため」「車検台数が増えるため。また、3月は決算期のため車販の増加が見込まれる」「決算事業所が3月以降増加し、好決算企業が多くなると予想しているため」「業界全体の人員及び設備の稼働状況が上がっているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では、「個人消費の低迷、少子化」「取引先の販売不振」「年度替わりのため」(製造業)、「4月より主原料の価格改定があるため」(卸売業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI 君の景況判断>



1. 建設業



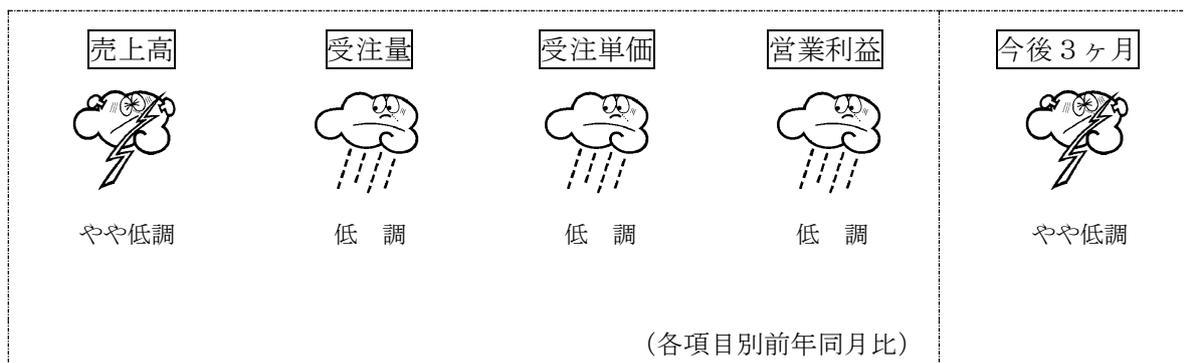
【項目別DIの推移】

	26年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
売上高	17.7	33.3	14.3	▲ 23.5	0.0	12.5	5.9	▲ 14.3	▲ 13.4	▲ 6.7	▲ 17.7	▲ 37.5	▲ 31.3
受注量	0.0	26.7	▲ 7.2	▲ 29.4	▲ 13.4	6.3	▲ 11.7	▲ 21.5	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 47.0	▲ 43.8	▲ 31.2
受注単価	▲ 11.7	▲ 13.3	0.0	▲ 5.8	▲ 6.6	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 14.3	▲ 26.6	0.0	▲ 17.6	▲ 18.7	▲ 6.3
営業利益	▲ 23.5	▲ 6.7	▲ 21.4	▲ 5.9	▲ 13.4	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 13.4	▲ 35.3	▲ 37.5	▲ 31.3
見通し	0.0	▲ 6.7	▲ 7.2	▲ 11.8	0.0	▲ 18.8	▲ 11.8	0.0	▲ 6.6	0.0	▲ 5.9	▲ 6.3	6.2

<経営者の目・見方・etc>

- 管工事
 - ・3月の期末で一段落らしく、4月以降のまとまった受注がない。新年度予算も期待できない。受け身の仕事はこれから難しいかもしれない。
- 建築工事
 - ・警備など下請の人材手配が困難になってきている。新年度の公共に期待したい。
- 鉄工
 - ・受注状況は良く、8・9月の物件まで来ている。
 - ・長野県内での動きは弱いが、首都圏向けの物件の引合は好調である。当社にとっては概ね好調であるが、この状況下で経営者として中長期的なビジョンを描けるかどうか問われている気がする。更なる発展や来るべき不況に備えての「かじとり」ができるかどうかで企業間格差が広がっていくのではないかと考えている。
- 電気工事
 - ・今年に入って急激に受注量が減少した。事業を継続していくのに借入に頼るしかない状況になっている。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	26年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
売上高	▲ 35.0	0.0	▲ 45.5	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 19.1	▲ 30.0	▲ 13.0
受注量	▲ 30.0	▲ 5.0	▲ 40.9	▲ 45.8	▲ 25.0	▲ 19.1	▲ 23.8	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 44.5	▲ 19.0	▲ 35.0	▲ 17.4
受注単価	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 22.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 20.0	▲ 21.7
営業利益	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 40.9	▲ 41.6	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 38.1	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 26.1
見通し	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 8.3	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 23.8	▲ 10.5	▲ 11.7	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 4.4

<経営者の目・見方・e t c>

菓子

・2月は特売注文が重なり、予想外に売上が伸びた。3月も売上が少しでも伸びるように毎日頑張る。円安が少し進み、不安材料は多い。

金属塗装

・円安が続き、輸入原材料は高値買い。石油、ガスが底をついて値上がりした為、採算が厳しくなる。

紙器

・松本の本社は受注量がまだ少ない状況だが、東京営業所の方が少し良くなってきた。

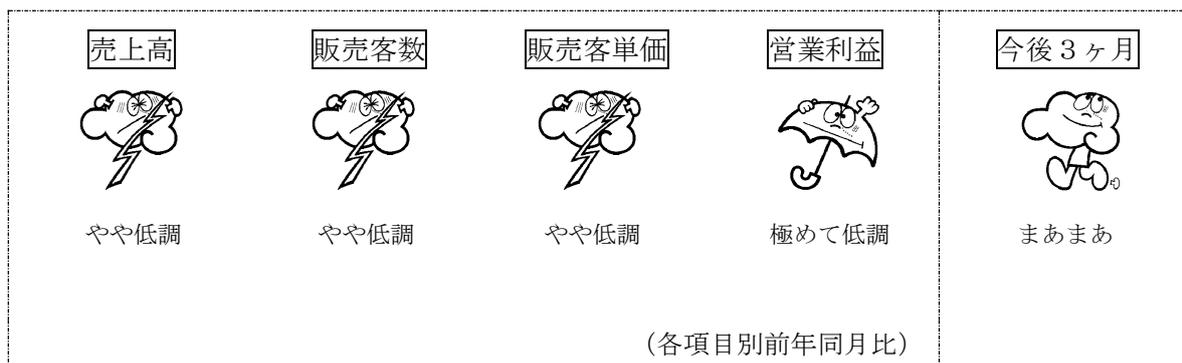
小型情報機器組立

・なかなか先が見えず、まわりに活気が無い。

精密機械

・どの業種も忙しいとの声が聞こえてきている。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	26年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
売上高	▲ 20.0	50.0	▲ 23.5	▲ 25.0	5.9	▲ 12.5	▲ 5.9	0.0	▲ 12.5	▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 6.3
販売客数	▲ 33.3	12.5	▲ 5.8	▲ 25.0	▲ 11.7	▲ 12.5	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 6.2
販売客単価	▲ 20.0	▲ 6.2	▲ 11.7	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 25.0	▲ 17.6	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 12.5
営業利益	▲ 40.0	18.8	▲ 23.6	▲ 31.3	▲ 11.7	▲ 18.7	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 31.2
見通し	▲ 26.7	▲ 50.0	17.6	0.0	5.9	▲ 6.2	▲ 11.8	0.0	0.0	▲ 6.3	▲ 12.5	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

機械工具

・消費税増税の影響を受けた昨年4月以来の悪い数字であった。まだまだ安定せず、厳しい。

金属製品

・大手商社物件により、活発な動きが続いている。2・3月は工事完了が重なる時期であり、工事案件が一段落する。

青果

・野菜は全国的な低温や日照不足から入荷が伸びていない。天候も3日と良い日が続かず、入荷も安定的とは言えなかった。昨年も大雪で入荷が不安定だった事もあり、入荷、価格等はほぼ前年並となった。果物は、みかんが裏年という事もあり、入荷減の単価高となった。雑柑橘も前倒しの入荷となり、入荷増、単価高となったが、みかんを補填するには到らなかった。イチゴ類も寒さの影響で入荷減の単価高となり、果物全体を通して入荷減、単価高となった。

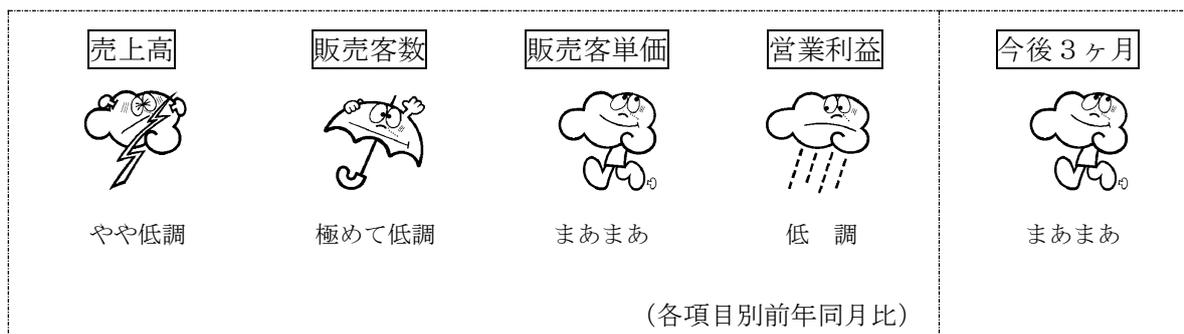
惣菜

・原価上昇に対して値上げが出来なければ、先行きはない。

土産品

・一部取引先に大幅な増加があるものの、土産品の売上は低迷が続いており、今後の新幹線延伸による相乗効果を期待している。

4. 小売業



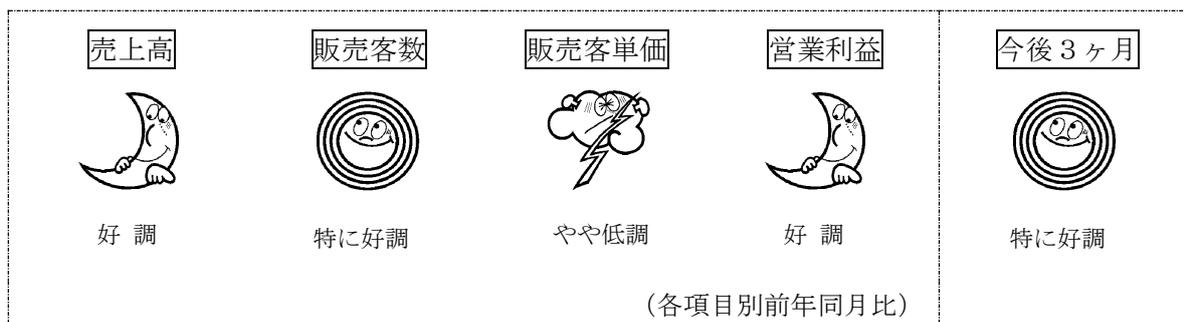
【項目別DIの推移】

	26年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
売上高	▲ 23.8	26.1	▲ 40.9	▲ 38.1	▲ 24.0	▲ 29.2	▲ 7.7	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 48.3	▲ 11.5
販売客数	▲ 42.8	13.1	▲ 59.1	▲ 42.8	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 44.5	▲ 42.4	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 41.4	▲ 30.8
販売客単価	▲ 19.1	0.0	▲ 18.2	▲ 4.8	▲ 4.0	▲ 8.4	▲ 11.5	▲ 33.3	▲ 11.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 31.1	3.8
営業利益	▲ 28.6	4.4	▲ 40.9	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 34.5	▲ 19.3
見通し	▲ 19.0	▲ 73.9	▲ 4.5	▲ 14.2	▲ 8.0	4.1	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 7.7	0.0	▲ 8.3	6.9	3.9

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|------------|--|
| ガラスサッシ | ・3月から住宅エコポイントが実施されるため、需要に期待している。 |
| ショッピングセンター | ・前年の大雪の反動から、売上は伸長したものの、消費マインドの回復とは言えない状況である。 |
| パン | ・昨年のような大雪が無く、暖かい日が多かったため、客足が伸びた。天候が良いと売上にも大きく影響する。
・次から次へと原材料価格が値上がりしている。国に踊らされているのではないかと疑心暗鬼になる。 |
| 印章 | ・例年通り、この時節は大手通販の紙上広告、パンフレットが出現。安売りが目白押し、消費者の視線が地元に向いているのか不安。ロボット製作印が蔓延し、印章本来の意味、重要性が認識されない状況にある。
・進学、就職関連の受注は昨年より堅調な動きを見せている。悪い中にも希望が見えてきた。今年は雪が少なく、助かった。 |
| 観光物産 | ・冬季期間は休業中だが、団体の昼食は受け付けている。しかし、主に台湾からの観光客が減少し、売上・客数ともに前年の50%と落ち込んだ。 |
| 書籍 | ・業界では問屋の統合の動きがあり、厳しさが増しているようだ。副業が徐々に拡大しているので、総力をあげていきたい。
・個人消費がなかなか上昇せず、売上が上がらない。入園入学のシーズンに向けてDMを打ち、活性化を図りたい。 |
| 生鮮食品 | ・昨年は雪の為に店を閉めた日があったが、今年は大雪もなく、良かった。また、大口予約もあり、助かった。 |
| 陶磁器 | ・前年が豪雪だったので単純な比較はできないが、記念セールが思いのほか好調で、例年以上の実績を上げることができた。「駆け込み」、「反発」と続いた前年とは比較しにくい季節となるが、暖かくなり、需要が上向くはずなのでしっかり対応していきたい。 |
| 味噌・しょうゆ | ・原材料の大豆価格が高騰している。 |

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	26年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
売上高	▲ 91.7	▲ 45.4	10.0	0.0	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 22.2	27.3
販売客数	▲ 91.7	▲ 45.4	10.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 11.1	36.4
販売客単価	▲ 66.7	▲ 45.5	0.0	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 18.2	▲ 11.1	▲ 9.1
営業利益	▲ 100.0	▲ 54.5	0.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 44.4	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 33.3	27.3
見通し	16.6	▲ 18.2	30.0	▲ 16.7	8.3	0.0	▲ 22.2	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 27.3	0.0	36.4

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|-------|---|
| カレー | ・2月は1年の中で一番良くない月だが、昨年のように大雪にならなかったのを助かった。週末も2月には人通りもあり、全体的に良かった。 |
| そば | ・相変わらず2月は1年で一番静かで活気がない月だが、宴会等の集客で例年になく良い月だった。今後も気を引き締めて頑張りたい。 |
| レストラン | ・昨年は大雪でダメだったが、今年は客数が伸びた。原材料費の高騰で大変である。 |
| 郷土料理 | ・大雪で最悪だった前年度と比較すると良かったが、景気が良くなったとは感じられない。 |
| 仕出し料理 | ・厳しい寒さも一段落し、春の献立にいち早く切り替えてお料理を提供したことで、お客様が増えた。ノロウイルスなどの食中毒にはまだまだ注意していきたい。 |
| 寿司 | ・前年の大雪の時の事を思えば少しは良いと思う。しかし、2月は売上が落ち込む時期で、景気回復とはほど遠い。売上の割に光熱費、人件費ばかりが目立つ。いろんな意味で春が待ち遠しい。 |

6. サービス業

売上高  やや低調	販売客数  やや低調	販売客単価  やや低調	営業利益  やや低調	今後3ヶ月  まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	26年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
売上高	▲ 22.8	▲ 8.3	▲ 11.7	▲ 2.5	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 10.2	0.0	3.1	▲ 5.0	▲ 24.3	▲ 19.5	▲ 5.7
販売客数	▲ 37.2	▲ 8.3	▲ 20.6	▲ 2.5	▲ 8.6	▲ 11.4	▲ 7.7	0.0	▲ 21.2	▲ 15.0	▲ 21.6	▲ 25.0	▲ 11.4
販売客単価	▲ 8.5	▲ 5.6	▲ 14.7	▲ 5.0	▲ 8.6	▲ 2.8	▲ 5.1	▲ 5.4	▲ 6.1	▲ 10.0	▲ 5.4	▲ 11.1	▲ 11.4
営業利益	▲ 34.3	▲ 11.1	▲ 20.6	2.5	▲ 5.7	▲ 17.1	▲ 17.9	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0	▲ 29.7	▲ 25.0	▲ 14.3
見通し	▲ 2.9	0.0	▲ 5.9	10.0	0.0	2.9	0.0	0.0	▲ 6.1	▲ 2.5	0.0	2.7	14.2

<経営者の目・見方・e t c >

クリーニング・リネン ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・1月に続き、生産現場の人手不足が一層深刻である。 ・一部分野のメーカー顧客について、規模の大きなシステム化案件の引き合いを聞くようになった。中堅ソフトハウスでは大手元請からの要件により人員確保の動きあり。要求スキルに対する人手不足が発生しており、特に若手 SE が不足している。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送人員が少なかった為、前年の売上高に達しなかった。オート燃料のガソリン価格が上昇した。
ペットサービス ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年のような大雪もなく、来店数、売上共に例年の2月並みであった。 ・外国人観光客が例年になく増えている。 ・昨年大雪が影響しているのか、宿泊の団体の動きが悪かった。また、個人の動きについても伸び悩んだ。婚礼についても2月を避ける傾向が出た可能性がある。閑散期ではあるが、例年以上に組数が伸びなかった。レストランについても集客に苦戦。全体的に団体、個人ともに動きが鈍い月となった。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の出足も悪い。営業マンのセールスもインターネットの時代となり、パソコンで販売できる。何とかしなければ。
マッサージ 機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・少し人の動きが出てきたように思われる。 ・期末に向けての動きは落ち着いている。駆け込みの大きなテーマはない。4月以降のテーマはまだ少なく、不安になる。
自動車整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン価格が上昇し始めてしまった。価格が下がるのは遅いが、上がるのは待ったなし。景気が良くなる気配さえ感じられない。
倉庫 保険	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な配送センター建設の計画がチラホラ出てきた。 ・顧客(地元企業)への商品提案の中で、まだまだ景気の見通しに不透明感を感じている企業が多いと感じる一方、好決算を迎える企業も徐々に多くなっているようだ。